

フィールドワーク

# 原民喜の「夏の花」を歩く

日時・2013年8月5日(月) 13時～16時半



我ハ奇蹟的ニ無傷ナリシモ、  
コハ今後生キノビテ  
コノ有様ヲツタヘヨト  
天ノ命ナランカ

死者の嘆きにつらぬかれ、平和を希求した  
詩人の原爆体験を辿ります。

《集合場所》世界平和記念聖堂（カトリック幟町教会）

《コース》世界平和記念聖堂→原民喜生家・被爆場所→京橋川土手被爆柳→栄橋  
→縮景園→円光寺・原民喜墓所→東照宮・原民喜詩碑

《案内》原時彦さん（原民喜の甥）、片山典子さん（広島花幻忌の会）、竹原陽子（広島花幻忌の会）

《参加費》500円（65歳以上・高校生以下300円）、別途電車代100円

原民喜（はら たみき）1905—1951 詩人、小説家

原民喜は、幟町の生家で原爆被災。京橋川畔と東照宮下で二晩野宿し、持っていた手帳に惨状を克明にメモしました。その年の秋から冬にかけて、「夏の花」（原題・原子爆弾）を執筆。47年、代表作「夏の花」（第一回水上瀧太郎賞受賞）を発表します。戦後は、上京して『三田文学』の編集に携わり、亡き妻の追憶や人類の平和を希求した作品などを発表。1951年3月13日に鉄道自殺し、その生涯を閉じました。

申込先：ヒロシマの今から過去を見て回る会（世話人：戸村良人）

E-mail: [simotil329@do.enjoy.ne.jp](mailto:simotil329@do.enjoy.ne.jp)（戸村） <http://tomura.lolipop.jp/9/index9.html>

電話：090-4740-4608（久野）